

# レンタル

# KALZA

## トレジジャーハント

### 1セットあたりの付属品



#### ●探索機 (1台)

※ストラップが付いていますが  
外さないで下さい  
ストラップの色は選べません。



#### ●子機 (2台)

※ストラップが付いていますが  
外さないで下さい  
ストラップの色は選べません。

#### ●シリコンゴム (4本+予備2本)



※シリコンゴムの色は選べません

	探索機 (1台)	子機 (1台)
使用する 電池	アルカリ単4電池 2本	CR2032電池 1個
新品電池の 連続使用 推奨時間	約72時間 (※1)	約48時間 (※1)
アラーム音	95db±3db	85db±3db
動作環境	直射日光や雨に濡れない場所 気温 5～40度 湿度 20～80%	
サイズ	95×65×14mm	38×25×11mm

(※1)

探知機を子機の近くでフル利用した場合です。  
電池によって電波の飛びが悪くなったり  
不具合が出る事もありますので電池は  
こまめに取り替えてください。

# レンタル

# KALZA

## トレジジャーハント

### 探知機のボタン配置の説明

軽く1回押すと子機の2番を  
1分間探索します

探索中に子機に近づくとインジケータが反応します。  
(※インジケータの見方は9ページ参照)

軽く1回押すと子機の  
1番を1分間探索します

SET ボタンは  
使用しません

ボタン3, 4は  
使用しません



<電源>

ON (電源入)

OFF (電源切)

<音>

Alarm (出る)

Mute (出ない)

SET ボタンは使用しません

電源を切ったり電池を  
抜くと立ち上がるまで  
時間を要する。



マークを探索する。

# レンタル

# KALZA

## トレジャーハンター

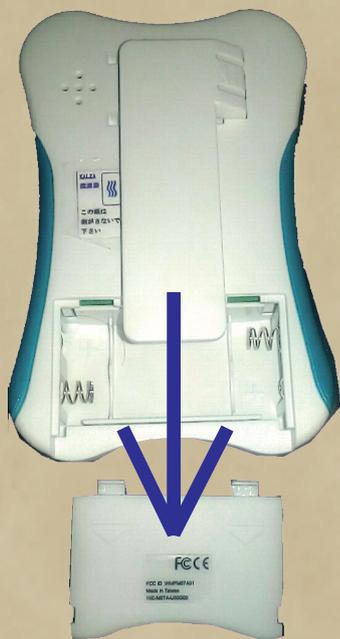
### 事前準備



①探索機の電源が OFF（電源切）になっている事を確認して下さい。



②音が Mute になっている事を確認して下さい。



③探索機の裏側にある電池入れのフタをスライドして開けて下さい。  
単4電池をプラス・マイナスの向きを間違えないように入れて、フタを閉めて下さい。

※電源は、まだ入れてはいけません。

※探索機と子機は必ずペアで使わなければ探索できません。  
探索機の背面と子機の背面にマークを付けていますので同じマークである事を確認して下さい。



子機



探索機

=探索できます



子機



探索機

=探索できません

※マークは絶対に剥がさないで下さい

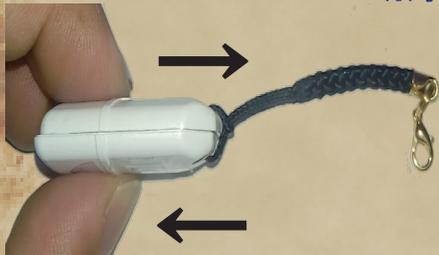
# レンタル

# KALZA

## トレジャーハンント

### 事前準備（続き）

※子機は必ず2台使わなければならない訳ではありません。



①子機は左図のようにスライドさせると分割します。

※ストラップも本体を固定する重要な役割をしています。

絶対に外さないで下さい



②2つに裂けるので電池のプラスとマイナスの向きを間違えないように入れてから、①の逆にスライドして分割した子機を1つにして下さい。

子機に電源スイッチは無いため電池を入れると起動します。



③付属のシリコンゴムで本体を左図のように固定します。

2台目も使う場合は、もう1台も①から準備して下さい。

※探索機と子機は必ずペアで使わなければ探索できません。

探索機の背面と子機の背面にマークを付けていますので同じマークである事を確認して下さい。



探索機



子機

=探索できます



探索機



子機

=探索できません

## トレジジャーハント

## 事前準備（続き）

## ●識別登録する

子機と探知機の間を 1.5 メートル以上開けて探知機の電源を入れて、1のボタンを軽く1回押します。ここで音も出したい時は音を Alarm にします。



約 1.5 メートル離す



1分以内に探知機が反応すれば識別完了です。



約 1.5 メートル離す



2機目の子機も使いたい場合も探知機と子機の間を 1.5 メートル以上開けて探知機の電源を入れて、2のボタンを軽く1回押して、しばらく待ちます。



約 1.5 メートル離す



1分以内に探知機が反応すれば識別完了です。



約 1.5 メートル離す



※<音>を Mute にしていても、1分以内に探知機が子機を探しきれない時はアラーム音が出ます。

# レンタル

# KALZA

## トレジャーハン

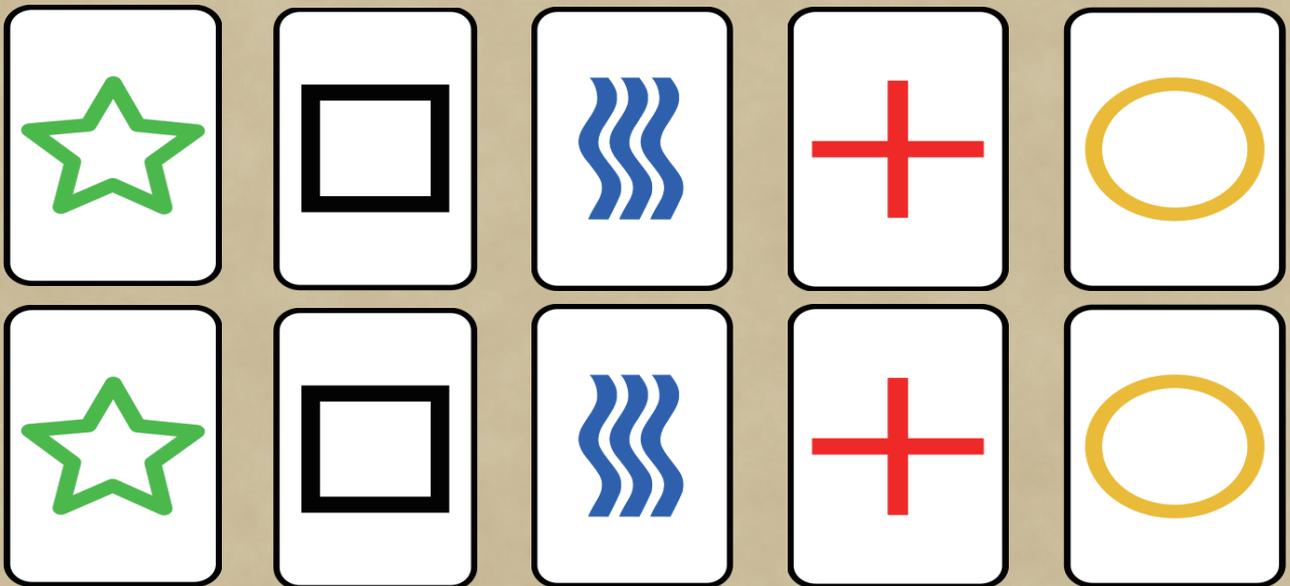
### 注意

### 複数の探索機を同一会場を使う場合

宝物（宝箱）の見える場所にマークを貼っておいて下さい。

探知中に偶然にもマークが違う宝物（宝箱）見つけてしまっても、それが自分が探している宝物（宝箱）では無いと分かるようにするための処置です。

下のマークから該当するマークを切り取ってお使いください。



参加者は自分が探さないといけない宝物（宝箱）と違うマークの宝物（宝箱）をたまたま見つけてしまった場合は、ゲットせずに通過するように参加者へ最初にルールとして案内しておいて下さい。



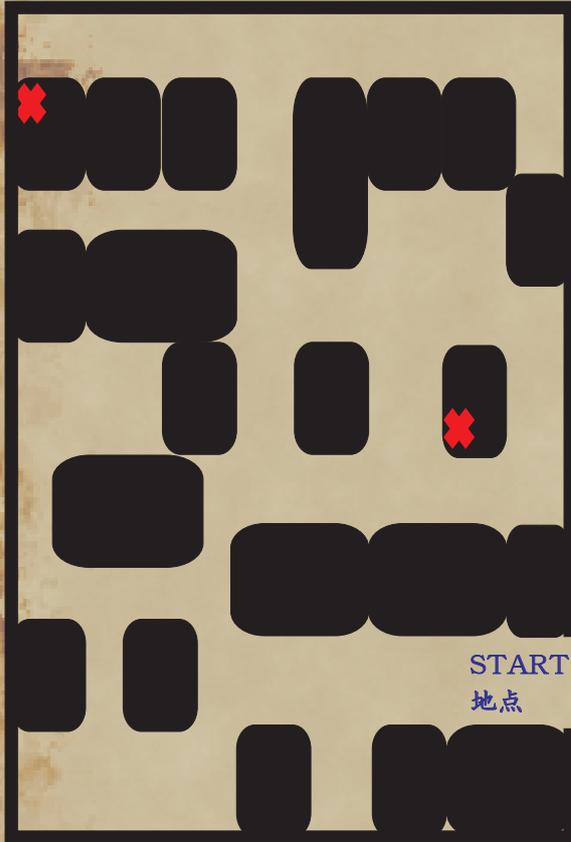
お！宝物発見！  
でもこれマークが  
違うからゲットしたら  
ダメね。  
通過しようっ。

# レンタル

# KALZA

## トレジャーハント

### さっそく子機と宝物を隠しましょう



❌の位置は参加者には教えない

左絵の例のような探索する区画を決めて  
その中で宝物を隠すと言ったイベントを開催しましょう。  
制限時間を設けると、より楽しくなります。  
隠してある場所を一定時間ごとに変えると  
隠し場所が漏洩しても安心です。  
ある程度の広さが必要ですが広すぎると、探すのに  
時間が、かかってしまい、狭いと盛り上がりに欠け  
ますので、会場と隠す場所を上手く考慮して下さい。

※必ずトレジャーハントする場所（会場）は  
貸しきるようにして、参加者以外の方もいるような  
混合状態でのイベントは行わないで下さい。  
誤って宝物（宝箱）を参加者では無い人に  
拾われてしまうとゲームが成立しなくなります。

### ルールを決めましょう。

以下は、あくまで参考例です

- 制限時間内に宝物を見つけよう！
- 見つけた宝物（宝箱を使う場合は宝箱の中の物）をスタート地点まで持ち帰って下さい
- 勝手に宝物（宝箱）を他の場所へ移動させたら失格です。
- 宝物（宝箱）の場所や中身を明かしたら失格です。

<探知機を複数使う場合>

- 探知機のマークと違うマークの宝物（宝箱）を見つけても無効ですから通過して下さい。

# レンタル

# KALZA

## トレジャーハンント

### 探知機が探索できるおおよその距離

●障害物が一切無い場合



約100メートル



●ケースなどに子機を入れた場合



約50メートル



●屋内など障害物がある場合（障害物の素材や厚さなどにもよります）



約30メートル



※あくまで目安です。電池残量でも距離は変わってきます。

### 機器について

探知機は精密機器です。必ずストラップなどを首から垂らすか、手に巻きつけるなどして絶対に落とさないようご注意ください。子機は小さいので紛失されないようご注意ください。電波は Wi-fi と同じ 2.4Ghz で日本国内認証を取った安全な機器です。

### 電池について

数日に渡ってイベントを行う場合は、探知機と子機はイベント営業時間中は電池を抜かずイベント営業の終了時間後に電池を交換して次の日のイベントに望む事を推奨します。

レンタル期間が終了し、返却する際は、必ず探知機と子機の電池を抜いてから返却して下さい。（電池を入れたまま返却すると液漏れなどで宅配事故になる危険がありますのでお止め下さい）

## トレジャーハンター

## 宝の探し方

## インジケータの見方

子機は通常スリープ状態です。探索機は押したボタンの番号の子機に1分間電波を発射しています。1分の間に子機から反応があれば、その電波の強さを判断しながら最大3分の間、電波を飛ばし続けます。インジケータをヒントに宝を探しましょう！



## 近



## 遠

※カッコ内の距離は障害物が無い場合の目安です  
※緑の LED は方角の向きが近い事を示しています

【操作】探索機の数字ボタンを軽く1回押すとボタンの上の赤 LED が素早く点滅します。

この時は、電波の発射準備中です。そのまま、ゆっくり点滅になったら電波を発射してボタンの対象の子機を探索しますので、できる限りその場に留まって探索機の向きを変えながらインジケータの反応を待ちましょう。(約1分程度)

探索中は探索機のボタンを押さないで下さい(挙動が不安定になったり子機を探せなくなる恐れがあります)子機から微弱なり応答があれば赤の LED が素早く点滅し 3 分間自動で電波を飛ばし続けます。